

兵庫県神戸市北区におけるメスアカケバエの2023年の記録

宇野宏樹

メスアカケバエ *Bibio rufiventris* (Duda) は日本各地・奄美・沖縄・朝鮮半島・中国に分布することが確認されているケバエの1種である(平嶋・森本, 2008; 吉田・八木, 2012)。兵庫県では、「兵庫県内では、少数ながら近年でも確認されている。」とされており、「兵庫県の注目すべき双翅目」の1つとして記録がまとめられていた(吉田・八木, 2012)。また、2006年には神戸市西区で確認されたことが記録されている(池田, 2021)。筆者は、本種を2023年に神戸市北区で採取したので記録の1例として報告しておきたい。

1ex. (図), 兵庫県神戸市北区道場町生野. 11. IV. 2023. 筆者採取.

日中、アリの運ばれている個体を採取した。

○参考文献

- 吉田浩史・八木 剛, 2012. 兵庫県の注目すべき双翅目. きべりはむし, 34 (2): 12-25.
池田健一, 2021. 神戸市西区におけるメスアカケバエの追加記録. きべりはむし, 44 (1): 98.
平嶋義宏・森本 桂 (監修), 2008. 原色昆虫大図鑑 第3巻 トンボ目・カワゲラ目・バッタ目・カメムシ目・ハエ目・ハチ目 他, 654pp. 北隆館.

(Hiroki UNO 兵庫県宝塚市)



図. 2023年に神戸市北区で採取されたメスアカケバエ.

兵庫県におけるツマグロキチョウの記録 10 数例

広畑政巳

本種は低標高地を中心に兵庫県全体に広く分布をするが、生息地は食草のカワラケツメイの生育地が環境の変化で安定しないためか変化をしている。また、拡散して移動する習性もあるようで、食草が生育している生息地では多くの個体が見られるが、食草も見当たらない思いもかけないところで見つかることもあり記録は点在している。

広畑・近藤(2007)で兵庫県におけるそれまでの記録を分かる限り集約したが、その後も新しい記録がいくつか同好会誌や昆虫関連誌で報告されている。筆者の手元にも県下における本種の新しい記録があるので報告する。なお、一例を除いてその記録は撮影されたものばかりで、雄雌の確認ができ難い個体もあるので撮影した頭数で表示している。その記録を1記録地1例で次に列記した。

神河町

東柏尾 2022年4月10日 1ex. 撮影. 久後地平

岩屋 2022年4月23日 1ex. 撮影. 久後地平

長谷 2023年4月20日 1ex. 撮影. 糸数幸高

多可町

中区田野口 2022年9月30日 1ex. 撮影. 糸数幸高

中区糺屋 2016年7月17日 1♂採集. 小西由紀

姫路市

白鳥台 2020年10月26日 1ex. 撮影. 広畑政巳

本町好古園 2023年3月15日 1ex. 撮影. 作山 徹

山田町南山田 2022年10月22日 1ex. 撮影. 糸数幸高

夢前町

寺 2015年9月27日 1ex. 撮影. 広畑政巳

加西市

大柳町古法華 2023年3月10日 1ex. 撮影. 糸数幸高

たつの市

新宮町髯崎 2021年9月27日 1ex. 撮影. 糸数幸高

市川町

下牛尾河内 2021年10月26日 1ex. 撮影. 糸数幸高

よく調査をすれば新しい記録はもっと多く見つかると思われる。採集・撮影記録をご提供いただいた久後地平, 糸数幸高, 小西由紀, 作山 徹の各氏にお礼申し上げる。

○参考文献

- 広畑政巳・近藤伸一, 2007. 兵庫県の蝶 自刊

(Masami HIROHATA 兵庫県姫路市)